

環境省・オフセット・クレジット認証運営委員会
(事務局:気候変動対策認証センター)御中

平成 22年 11月 25 日

妥当性確認結果の概要報告書

妥当性確認の審査結果ならびにパブリックコメントの概要について以下の通り報告いたします。

対象プロジェクト名						
大阪府株式会社ケーシーシーにおけるボイラー装置の更新による温室効果ガス削減事業						
GHG 妥当性確認機関						
当該プロジェクトにおける妥当性確認を行うにあたり、当該プロジェクトに関して一切の利害関係がないことを宣誓します。						
機関名	社団法人 日本能率協会					
担当部署名	地球温暖化対策センター					
担当者名	平川 雅宏					
担当者 E-mail	Hirakawa_Masahiro@jma.or.jp					
担当者電話番号	03-3434-1245					
機関要件への合致	DOE としてセクトラルスコープ 1,2,3,4 の認定を受けている。					
妥当性確認報告書発行日	2010年11月25日					
審査内容		審査結果概要				
適用妥当性確認・検証ガイドライン		妥当性確認・検証ガイドライン Ver. 1.2				
妥当性確認期間		2010年10月15日～2010年11月18日				
想定排出削減・吸収量	年度	2008	2009	2010	2011	2012
	t-CO2	37	90	91	91	91
プロジェクト情報 (A・B)		プロジェクト計画書を基に、根拠書類の確認及び関係者へのヒアリングを行った。その結果、プロジェクト情報は、重要性の点から適正に記載されており、オフセット・クレジット(J-VER)制度に依拠し、作成されている事を確認した。				
適格性要件(C)		プロジェクト計画書を基に、根拠書類の確認、プロジェクト関係者へのヒアリング及び現地訪問時に関連設備の確認を行った。その結果、方法論の適用は、実施規則及びポジティブリストに準拠しており、適格性要件を満たしている事を確認した。適格性要件は、重要性の観点から適正に記載されており、オフセット・クレジット(J-VER)制度に依拠し、作成されている事を確認した。				

<p>排出量・吸収量算定 (I・II)</p>	<p>モニタリング計画書を基に、根拠書類の確認、プロジェクト関係者へのヒアリング及び証拠書類を基に機関にて検算した結果と、モニタリング計画書記載の排出量との突合せを行った。その結果、当プロジェクトの排出量の算定は、方法論及びモニタリング方法ガイドラインに準拠している事を確認した。排出量の算定は、重要性の点から適正に記載されており、オフセット・クレジット(J-VER)制度に依拠して作成されている事を確認した。</p>
<p>モニタリング計画(III ~VI)</p>	<p>モニタリング計画書を基に、根拠書類の確認、プロジェクト関係者へのヒアリング、現地訪問時の関係設備の視察及び証拠書類を基にモニタリングプラン記載内容の確認を行った。その結果、モニタリング計画書III~VIに記載されている内容は、方法論及びモニタリング方法ガイドラインに準拠している事を確認した。モニタリング計画書は、重要性の点から適正に記載されており、オフセット・クレジット(J-VER)制度に依拠して作成されている事を確認した。</p>
<p>その他(D)</p>	<p>プロジェクト計画書を基に、根拠書類の確認、プロジェクト関係者へのヒアリングを行った。その結果、関連する許認可及び関連法令等の遵守状況、環境影響評価及び環境測定、住民説明会の実施状況は、重要性の点から適正に記載されており、オフセット・クレジット(J-VER)制度に依拠して作成されていることを確認した。</p>
<p>機関の見解 (サマリー・結論)</p>	<p>オフセット・クレジット(J-VER)制度実施規則に基づいて、妥当性確認を実施した。その結果、本プロジェクトは、ポジティブリストの適格性基準を満たし、方法論に照らした算定式が設定されており、適格性基準に整合していることを確認した。また、削減量の計算方法、モニタリング方法等については、ルールへ準拠していることが確認され、当制度における重要性基準としての削減量の5%以内という水準を確保していることを確認した。</p>

パブリックコメントの概要

<p>パブリックコメントの募集期間 平成 22 年 10 月 22 日から平成 22 年 11 月 4 日</p>
<p>コメント 特になし</p>
<p>妥当性確認機関の見解 該当なし</p>